

カメラ付きケータイを複合機代わりに!? 画像のデータ変換サービスを提供

オフィス内の複合機や外出先のビジネスセンターなどで提供されるスキャン・コピー・FAXをカメラ付きケータイで手軽に行えるユニークなASPサービスがある。2007年10月からauのEZweb・BusinessEZ公式コンテンツに登場した「スキャンR」だ。

サービスを開発したスキャンアールは、2年ほど前に米国で創業し、2007年5月に日本法人を設立。同社アジアパシフィック・バイスプレジデントの石井和彦氏は、「すでに世界で100万、日本でも提供開始から4カ月で約3万のユーザーを獲得しました」という。

独自の画像補正技術で 撮影画像からPDFやvCardを作成

「スキャンR」は、利用者が専用サーバに送信するカメラ付きケータイで撮影したビジネス文書やホワイトボードの文章・図、名刺などの画像を、データとして有効活用できるようにするものだ。独自のイメージ処理で画像の影や反射、にじみ、ピンボケ、角度などを自動補正したうえで、OCRで文字を読み取り、抽出できたテキストに

はタグを付加し、ドキュメントや画像データはPDF形式、名刺データはvCard形式でファイルを作成。そのデータを暗号化して利用者個々の専用ストレージに保存する。

作成された高精細なデジタルデータは、PCや携帯電話で閲覧したり、ダウンロードして印刷できる。名刺データは、そのまま携帯電話のアドレス帳などに登録することも可能だ。撮影画像はPDFファイルでのFAX送信やメール転送が行えるため、スピーディな情報の伝達・共有も実現できる。

さらに、他のサービスや企業内アプリケーションとの連携も容易。すでに米国ではSaaS事業者のsalesforce.com社、ネットワークアドレス帳を提供しているplaxo社、SNS事業者のfacebook社との連携で実績を上げている。

使い方は多種多様 経費精算用のデータ活用例も

「当社が提供しているのはあくまでプラットフォームソリューションですから、アプリケーションはあらゆるもの



「カメラ付きケータイが紙情報のデジタル化ツールになった」

スキャンアールの石井和彦
アジアパシフィック・バイスプレジデント

効果を上げたモバイルはこれ!

業種 サービスプロバイダー (ASP事業)

活用分野 ケータイ向けドキュメント管理サービス

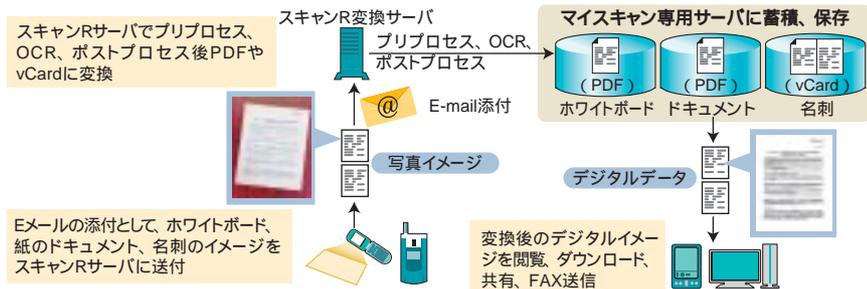
テクノロジー カメラ付き携帯電話、各種画像処理技術(独自開発)

が考えられます」と石井氏が言うように、「スキャンR」の用途は多様だ。ビジネス分野では、建設現場で設計図をやり取りする際のモバイルFAX用途、議事録としてのホワイトボードのデータ共有、また領収書を撮影して経費精算用データとして利用している例もある。

同社では今後、データ利用に関するポリシー設定、対応するファイル形式の拡大、OCRで抽出したテキストをより有効活用するためのデータベース強化など、さらなる機能の充実を図る考えだ。

また、「2008年5月中旬よりBREWクライアント(アプリケーション)が提供され、サービス利用時にカメラモード設定、撮影、アップロード、保存データの閲覧といった一連の動作をより簡単にできるようになりました」と石井氏とさらに進化中である。

「スキャンR」サービスの仕組み



Profile

スキャンアール株式会社
http://www.scanr.jp/

本社所在地 東京都港区虎ノ門4-3-1 城山トラストタワー27F(本社:米国カリフォルニア州)
設立 2007年5月
資本金 1000万円

事業内容

カメラ付き携帯電話を活用したASP事業